



## スマホのトラブルが増えています！

- ①深夜まで…やめられない！
- ②友だちの悪口や人を傷つける書き込み
- ③ネットで知り合った人を信用しすぎる

他人事ではありません！  
スマホを持たせたら、注意してください。

### ①深夜まで…やめられない！



人気の戦場ゲーム(PUBG)は、親が寝静まってからも布団のなかでやりつづけるほど、子どもを夢中にさせるようです。

**睡眠不足 → だるい・おむい → 集中力の低下**

「めんどくさい」「やいたない…」「学校休みたいなあ…」となります。人気のこのゲーム、対戦相手が必要で、なかなかやめようと言いくくなるのかもしれませんが。夏休み、学校もないとどんなことになるのか…心配です。やり続けていると、スマホのない過ごし方に違和感を感じ、常に触っていたい心理になります。子どもでも中毒という状態になります。ところが、自分の体調や心理の変化に自分で気づかないのが子どもなのです。そして…

### ②友だちの悪口や人を傷つける書き込み



(自分はメッセージを送ったのになかなか返信されてこない…)(無視されたのかな…)

(自分のこと嫌いなのかな…)(おかしいやろ…変や…)

既読無視されたと思い込み、気持ちがエスカレート。または、友だちの悪口に同意してもらえないと、急に攻撃的な言葉にエスカレート。

左のようなSNSを通しての会話は、顔が見えず、音声もないので、ひどい言葉がまるで、単に活字を並べたような軽さで送信されていきます。しかし、受け取った側は、そのひどい言葉がいつまでも消えない文字としてあり、ひどく傷つくことになります。

(今、お風呂かな。ご飯かな。)と相手の状況を思ったりできれば、こんなことにはならないのですが、返信がないことがとっても不安でたまらなくなるのでしょう。

### ③ ネットで知り合った人を信用しすぎる！



ゲームやネットを通して知り合った人とは、同じ趣味を通じて話がはずむことも多いでしょう。「優しい人・・・」「いい人・・・」と信用させて、誘い出すことが目的。通学路で誘われるのは警戒しても、SNSのなかで知り合った人は友だちと思うのでしょうか。児童ポルノや危険ドラッグ、覚せい剤等の被害にあうことが想定されます。

本校の児童には、深夜徘徊や喫煙等の不良行為を行う子どもはいません。SNSのこと以外に大きく生活が乱れていくことはありません。特に高学年は、この夏休みの過ごし方が、今後の学校生活や中学生に向けての学力形成に大きな影響を与えます。

#### ～家庭のルールに関する提案～

##### 1. スマホは秘密の部屋ではない！ 親がチェック！

通信内容とやっていることを毎日親が見ること。スマホの内容を親が管理しないことは、無免許運転で公道に出すようなものです。親に読まれる前に削除するようなこともすぐに覚えますので、親も毎日真剣に向き合う覚悟が必要です。

##### 2. ルールを守れなかったときのルールを決める！

すぐに解約すると高額な違約金がかかるのが、今の通信会社のほとんどのやりかた。使わないと損！みたいな感覚にさせています。もう一つは、上限設定の同一料金制度。使った分だけ代金があがるなら、利用時間の設定にも歯止めができるのですが、それがなければどうしても、ルールがゆるくなってしまいます。ここも真剣に向き合う覚悟が必要です。

**大阪府警察のリーフレットを参考に、家族で考えてみましょう。**